

審査の結果の要旨

氏名 森 朋子

本論文は、社会に出る前段階の若者を対象に、社会が持続可能な発展を遂げるために必要となる社会システムの転換（以下、「サステナビリティ・トランジション」という。）に寄与する集団での環境行動を促進する環境教育についての知見を得ることを目的としている。そのために本論文では、サステナビリティ・トランジションに資する行動とその行動に必要な能力を特定し、それらの習得という観点から見た場合の現在の環境教育の課題を抽出した上で、サステナビリティ・トランジションに求められる能力の習得機会を提供する環境教育プログラムの影響、ならびに集団での環境行動意図に影響する心理的要因の分析を行っている。

本論文は7章からなる。第1章の序論では、持続可能な社会を実現するために社会システムの変換を目指すサステナビリティ・トランジションの必要性が指摘されているものの、サステナビリティ・トランジションに関連が深い公共領域における集団での環境行動については研究が少ないことや、集団での環境行動の促進を意図した環境教育についての知見が限られていること等を挙げ、本研究の位置づけや新規性を提示している。

第2章では、サステナビリティ・トランジションを効果的に促すために重要な段階を特定し、その段階に深く関連する環境行動と能力を具体的に特定することを目的とした文献調査と議論を行っている。その結果、社会システムの変革を目指した既存の取り組みは、開始フェーズと加速フェーズに課題があると指摘されており、この2つのフェーズには公共領域における集団での環境行動と、戦略的コンピテンスおよび対人関係コンピテンスの能力が深く関連していることを示している。

第3章では、第2章で特定されたサステナビリティ・トランジションを起こすうえで重要な能力の習得機会が、最新の環境教育プログラムにおいて十分に提供されているかに着目して、現在日本で実践されている環境教育モデルプログラムの特徴を分析している。分析の結果、サステナビリティ・トランジションに資する集団行動を促すうえで重要な戦略的コンピテンスと対人関係コンピテンスは、最新の環境教育プログラムでも習得機会が少なく、今後の環境教育において取り入れるべき学習項目であると結論づけている。

第4章では、集団での環境行動に向けた初級および上級段階の2つの教育プログラム事例をとりあげ、サステナビリティ・トランジションに必要な能力の取得が期待できる教育プログラムが学習者に与える影響を分析している。その結果、こうした教育プログラムの受講を通して、参加者の環境問題に対する積極的な興味関心や集団での環境高度意図が高まっていることや、立場や意見の異なる主体と協働するという対人関係コンピ

テンスの習得機会としても機能していることを明らかにしている。

第5章では、第4章の事例研究よりも大きなサンプル数を用いて統計分析を行うことによって、集団での環境行動意図に影響する心理的要因を明らかにすることを目的とし、ウェブアンケートから得られたデータを用いた共分散構造分析を行っている。個人での環境行動に関する既存研究では、環境に良いことをしたいという目標意図が行動意図に影響を及ぼしていたのに対し、本分析の結果からは、集団での環境行動においては目標意図は行動意図に影響しないこと、代わりに集団行動に対する重要性認知や責任帰属認知、環境問題に対する積極的な興味・関心が行動意図に影響を及ぼすことなどを明らかにしている。また、他者と協働し社会に参画する行動を経験することは、他者と上手く協働することができるという有能感を高め、行動意図に影響することを明らかにしている。

第6章では、第3～5章で得られた知見をもとに、サステナビリティ・トランジションに寄与する環境教育への提案を行っている。全ての学習段階に共通する提案事項として、集団での環境行動に対する認知を高めること、実践経験を積むことで他者との協働コンピテンスを高めること、環境問題への強い興味関心を引き起こすことの重要性を説明している。

第7章は結論であり、本研究の総括を行うとともに、今後の課題について述べている。

なお、本論文の第4章と第5章の一部の成果については、田崎智宏との共著論文として公表しているが、論文提出者が主体となって分析を行ったものであり、論文提出者の寄与が十分であると判断する。

以上要するに、本論文は、集団での環境行動の影響要因を定量的に解明するとともに、サステナビリティ・トランジションの促進に資する環境教育の基本的要点を明らかにしたものであり、学術的な新規性を有し、今後の環境教育に大きく貢献する社会的意義のある内容であり、博士論文としての質を十分に備えているものと評価する。

よって、本論文は博士（環境学）の学位請求論文として合格と認められる。

以上1990字